

## 「コンプライアンス強調月間」の実施について

当社は、平成19年6月に「コンプライアンス経営推進宣言」を行い、役員の率先垂範のもと、コンプライアンスを最優先とした業務運営の推進に全社を挙げて取り組んでいます。

この取り組みの一環として、平成19年度から毎年、11月を「コンプライアンス強調月間」と定め、諸施策を集中的に展開していますが、今年度も、以下のとおり実施します。

これらの取り組みを通じて、コンプライアンス経営を着実に推進することにより、引き続き、お客さまから信頼され、選択される会社を目指していきます。

### 1. 目的

一連の不適切事案※注の発端となる事案が判明した11月を「コンプライアンス強調月間」として設定し、この期間を中心として諸施策を集中的に実施することにより、コンプライアンスに対する社員の意識喚起を図るとともに、不適切事案から得た教訓の風化を防止する。

※注 平成18年10月31日、俣野川発電所土用ダムの測定値改ざん問題が発覚し、11月に、下関発電所冷却用海水の取水温度測定値変更問題、西郷発電所における大気汚染防止法の規制値超過問題が判明。さらに、その後の点検の結果、81事案（水力発電17、火力発電35、原子力発電29）の不適切事案が判明。

### 2. 実施期間

平成21年11月1日（日）～11月30日（月）

### 3. 実施施策（詳細は別紙のとおり）

#### (1) 役員による事業所訪問

役員が64箇所の事業所を訪問し、コンプライアンス経営に対する思いを社員に直接伝達。

#### (2) コンプライアンス意識啓発ツールの活用

風化防止ビデオの視聴等を全職場で実施。

#### (3) ルールの適切性の確認

実態と合わないルール・マニュアル等はないかといった視点から、各職場において、話し合いによるルールの適切性の確認を実施。

#### (4) 話し合い研修の実施

職場活性化やコミュニケーションの円滑化等に向けた話し合い研修を、各職場で実施。

以上

### 【添付資料】

 [別紙:コンプライアンス強調月間の実施施策\[PDF:150KB\]](#)

## コンプライアンス強調月間の実施施策

施策		内容	実施時期
1. 役員による事業所訪問		会長・社長ほか、役員（常務以上）が事業所（64箇所）を訪問し、コンプライアンス経営に対する思いを社員に直接伝えることにより、社員のコンプライアンス意識の維持・向上を図る。	21年11月
2. コンプライアンス意識啓発ツールの活用	風化防止ビデオの視聴	コンプライアンスに反する行為が社会に厳しく受け止められ、当社に大きな影響を与えたこと等を伝える「風化防止ビデオ」を視聴することにより、不適切事案から得た教訓を改めて認識するとともに、風化防止を図る。	21年11月
	パソコン画面活用による役員メッセージの発信	パソコン起動画面を活用し、「3つの行動」 <sup>※注</sup> の実践やコミュニケーションの円滑化に向けた役員からのメッセージを発信することにより、社員の意識喚起を図る。  ※注 「コンプライアンス最優先」を実現するために、日々実践すべきものとして定めた「良識に照らします」「率直に話します」「積極的に正します」の3つの行動。	21年11月～12月
3. ルールの適切性の確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、自分たちが行っている業務の中で、「実態と合わないルール・マニュアル等はないか」「ルール・マニュアル等が不明確または存在せず、判断に迷う事例はないか」を各職場で話し合うことにより、ルール等のそもそもの趣旨を考えるきっかけにするとともに、ルールから逸脱した業務処理の未然防止を図る。</li> <li>話し合いの結果、ルール・マニュアル等の見直し等の要望があったものについては、各主管箇所において検討を行い、ルールの必要性・妥当性についての社内理解の促進やルール・マニュアル等の見直し等を行う。</li> </ul>	21年11月～12月
4. 話し合い研修の実施  （各職場の状況・ニーズにより選択し、必要に応じて任意で実施）		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相互承認により職場の活性化を促す研修 日頃の取り組みを相互に承認することで、モチベーション向上や職場の活性化に結びつける。</li> <li>○ 自らの業務が社会へ及ぼす影響を考える研修 不適切な処理が社会に与える影響を具体的に想像することで、責任ある業務遂行につなげる。</li> <li>○ コミュニケーションの円滑化を図るための研修 ロールプレイを通じ、「聞く」ためのスキルを学び、円滑なコミュニケーションを図るための気付きを得る。</li> </ul>	21年11月～22年1月